

看護ひろしま

広島県看護協会報

令和6年度事業計画

2024
April
No.254

4

令和6年能登半島地震 災害支援ナース派遣

「看護ひろしま」アンケート結果

【保健師コーナー】
生きづらさを抱える方への支援を学ぼう!!

【助産師コーナー】
助産師が行う超音波検査

【看護師コーナー】
お互いを認め合う職場づくり

【Topics】
令和6年度広島県看護協会の奨学金募集
令和6年度看護研究倫理審査について
図書室視聴覚資料のご案内
ナースセンターからのお知らせ

【Information】
「看護の日」PRバス
看護生涯教育・研究センターからのお知らせ
看護職の生涯学習ガイドライン



広島県かんどちゃん

広島県看護協会HPはこちらから



令和6年度
広島県看護協会通常総会
と き／令和6年6月15日（土）
13:00～16:00
と ころ／リーガロイヤルホテル広島

ひろしま看護フェスタ2024

と き／令和6年5月26日（日）13:00～16:00
と ころ／広島国際会議場（ヒマワリ、ダリア）
イベント内容／看護への道、ふれあい看護体験、看護の
進路・進学相談、キッズナース体験、他



Hiroshima Nursing Association
広島県看護協会
会員数／合計17,901人
(令和6年4月1日現在)

公益社団法人 広島県看護協会 令和6年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業を推進していくために、定款第4条に沿って以下の事業を行います。

重点事項

- ① 看護職の人材確保と定着推進
- ② 地域包括ケアシステムの強化に向けた取組の推進
- ③ 災害時看護支援体制の整備及び感染症対応力の強化

I 公益目的事業

看護の質の向上に関する事業

専門分野における最新の知見等の情報を発信し、医療現場等における看護の質向上を図る。

- ① 看護の専門性を高める教育と生涯学習の支援
 - 生涯教育研修の推進
 - ・新人看護職員、ジェネラリスト、専門看護師・認定看護師等、看護管理者、看護指導者を対象とした集合研修
 - ・認定看護管理者教育課程
 - 看護研究活動の支援
 - 図書サービスの充実
- ② 保健師・助産師・看護師職能に関する活動
 - 保健師職能の活動 保健師職能研究会等
 - 助産師職能の活動 助産師職能研究会等
 - 看護師職能の活動 看護師職能研究会等
 - 三職能合同研究会の企画・運営
 - 日本看護協会職能委員会との連携
- ③ 医療安全対策の推進
 - 医療事故防止の推進
 - 医療安全管理者の養成等

III 公益目的事業

看護職の人材確保と定着推進に関する事業

行政や関係機関と連携し、ナースセンターの活用(求職・求人相談、就業斡旋)促進、ハローワーク等へ出張相談、未就業の看護職へ復職のための研修やセミナー及び看護職員の働き続けられる職場づくりの支援等を行う。
また、看護職の確保を効果的に推進していくため、地域の実情を踏まえた地域別偏在に係る対策を図る。

- ① ナースセンター事業の推進
 - 再就業促進事業
 - ・就業相談会の開催
 - 看護職員復職支援事業
 - ・協力病院及び協力訪問看護ステーションにおける実践研修・事前研修
 - 看護職員確保対策推進事業
 - ・県東部地域の相談体制の推進
 - ・早期離職者就業促進(お休みナースのゆっくりカフェ等)
 - ・看護職離職時等届出の推進
- ② ワークライフバランス推進事業
 - ・働き続けられる職場環境づくりの支援(アドバイザー派遣等)
 - ・相談体制の充実
- ③ 広島県版自己点検ツール『チャレンジ』推進事業
 - ・チャレンジキックオフ
 - ・チャレンジ実施
 - ・ワークショッププラス

II 公益目的事業

調査研究及び看護制度等の提言に関する事業

日本看護協会や関係行政等が実施する調査への協力を含め、看護実践に根ざした看護に係る調査等を実施する。

- ① 看護に係る実態調査等の実施
- ② 日本看護協会等関係機関・団体の調査への協力
- ③ 看護業務及び看護制度の改善等に関する情報提供

IV 公益目的事業

在宅ケアの推進及び地域住民の健康増進に関する事業

ケアを必要とする県民が安心して在宅療養ができるよう多様なニーズに対応する訪問看護サービスを提供するため、医療機関、行政等との連携強化を図り、訪問看護ステーションにおける看護サービスの向上を図る取り組みを行う。また、支部が中心となり県民の健康な生活を実現するために、関係機関等と連携し、地域住民の健康維持・増進の普及啓発を目的として「まちの保健室」等を開催する。

- ① 協会立訪問看護ステーション等事業の推進

(訪問看護ステーション5カ所、居宅介護支援事業所5カ所、及び広島市から委託を受けた地域包括支援センター1カ所)

 - 地域の多様なニーズに対応できる訪問看護の提供
 - ・24時間訪問看護体制の充実
 - ・医療依存度の高い在宅療養者及び家族への支援
 - ・ICTを活用した業務効率化の推進
 - ・専門性の高い看護師の育成・活用
 - 地域における多職種との連携強化
 - ・在宅医療介護連携の推進
 - ・地域の訪問看護ステーションとのネットワーク構築
- ② 在宅医療の人材確保のための推進事業
 - 訪問看護師育成支援
 - ・「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成研修等
 - 訪問看護版インターンシップ
 - セカンドキャリアの活用
 - ・プラチナナース支援研修
- ③ 地域看護連携の推進
 - 医療機関と訪問看護ステーションとの看護師相互交流派遣研修
 - 病院から訪問看護ステーションへの出向
 - 退院支援・退院調整看護師の育成及び連携
- ④ 県民への健康増進事業の推進
 - ・健康増進・介護予防に関する活動
 - ・子育て支援に関する活動
 - ・小児救急医療電話相談(＃8000)
 - ・「まちの保健室」常設型・イベント型

V 公益目的事業

看護の普及啓発に関する事業

毎年、5月12日を中心に行われる「看護週間」関連事業をとおして、看護職や県民が看護に関する関心と理解を深められるよう看護の魅力や重要性を伝える。

- ① 「看護の心」普及啓発事業
 - ひろしま看護フェスタ2024(会場:広島国際会議場 5/26)
 - 進路相談会
 - ふれあい看護体験
 - 看護の出前授業
- ② 看護広報事業
 - 「一日まちの保健室」(フラワーフェスティバル5/3～5)
 - 看護の日PRバス運行(5/13)

VI 公益目的事業

災害支援、健康危機支援に関する事業

県内外で災害が発生し行政等から看護職の派遣要請を受けた場合に対応できるよう、体制及び環境の整備を行う。また、健康危機に対しては、関連する情報収集及び発信を行い医療関係者として必要とされる研修会等を実施する。

- ① 災害等看護支援体制の充実
 - 災害時看護支援体制の整備
 - 災害支援ナースの養成研修
 - 日本看護協会、行政機関及び他関係機関等と連携した支援活動
- ② 健康危機に関する支援
 - ・健康危機に関する情報収集と発信及び支援
 - ・感染管理認定看護師等の派遣に係る体制の整備

VII 公益目的事業・収益事業等・法人管理事業

その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業運営に必要な会議の開催や行政機関及び関連団体等の活動に協力し、他職種と連携しながら公益活動を行う。会員支援については、看護管理者を対象にした研究会の実施を継続するとともに会員の福利厚生及び本会規程に基づく奨学助成を実施する。

【諸会議の開催・支部活動及び会員支援に関する事業等】

- 通常総会：年1回
- 理事会：年6回程度
- 常任理事会：月1回
- 監査：年5回
- 支部長会：年3回
- 職能委員会・常任委員会：月1回
- 支部総会：年1回
- 将来構想検討委員会
- 看護管理者(看護管理者、中間看護管理者)研究会
- 会員のための福利厚生(各種表彰候補者の推薦、慶弔、奨学助成等)
- 広島県看護協会会館の管理・運営
 - ・適正な財産管理
 - ・会館の維持管理、会館機能の充実

TOPICS

令和6年度広島県看護協会奨学金の募集が始まりました

- 募集期間
令和6年4月1日から6月末日

- 奨学生の資格
広島県看護協会会員であり、卒業又は修了後1年以内に広島県内に看護職として就職し、次の貸与の対象に該当する者

貸与の対象		貸与期間	貸与金額
看護系大学院の在学生	修士課程	2年間	月額 50,000円
	博士課程	3年間	
保健師学校養成所・助産師学校養成所の在学生		1年間	月額 20,000円
看護系大学の編入学生(3年次・4年次在学)		正規の就学年限	月額 30,000円
看護師養成所の在学生	全日制・通信課程	2年間	月額 20,000円
	定時制	1年間(実習期間)	月額 30,000円
日本看護協会が認定した認定看護師教育課程の研修生		1年以内	月額100,000円

上記とは別に、「広島県看護協会齊藤利子奨学金」があります。それぞれ詳細は広島県看護協会HPをご参照ください。

お問い合わせ
総務部 (082-293-3362)

令和6年 能登半島地震 災害支援ナース派遣

元日の夕方、能登半島地震のニュース速報が飛び込んできました。テレビはどここの局も地震報道に切り替わり、津波警報も流されてお正月ムードはいっぺんに吹き飛んでしまいました。

その中、日本看護協会では、発災5日後の1月6日から災害支援ナースの派遣を開始し、広島県は、1月18日から2月14日までの期間、12病院、24人が被災地の1.5次避難所(小松総合体育館・いしかわ総合スポーツセンター)で支援活動を行いました。派遣にご協力いただいた災害支援ナースの施設の皆さまには心よりお礼申し上げます。

なお、本会ホームページ、「令和6年能登半島地震関連情報」にその様子を掲載しています。

■石川県に派遣された災害支援ナースの皆さんと派遣期間

	派遣期間	所属施設	災害支援ナース
第1班	1/18~1/21	マツダ株式会社マツダ病院 広島大学病院	船田 健一・千代延 淳子 増本 知佳・在川 和
第2班	1/21~1/24	県立広島病院 広島市立広島市民病院	樋谷 康平・穴戸 加奈子 植田 明子・池田 薫
第3班	1/24~1/27	広島市立リハビリテーション病院 広島共立病院	伊東 有美子・永松 栄子 林 美穂・高田 泉
第4班	1/27~1/30	広島市立広島市民病院	奥野 和子・板原 容子
第5班	1/30~2/2	広島市立北部医療センター安佐市民病院 尾道市立市民病院	石橋 美由紀・林 敬太 麻生 恵美・枝廣 佳那
第6班	2/2~2/5	日立造船健康保険組合因島総合病院 寺岡記念病院	沖 美和 藤原 容子
第7班	2/5~2/8	派遣中止	
第8班	2/8~2/11	県立広島病院 マツダ株式会社マツダ病院	伊藤 梓 小藤 尚哉
第9班	2/11~2/14	たかの橋中央病院 市立三次中央病院	谷増 えり 中井 晋平

※1.5次避難所とは、高齢者や障がいのある方、妊婦、乳児など特に配慮が必要な方々が、ホテルなどの「2次避難所」に移るまでの一時的な受け入れ先

災害支援ナース活動を経験して

地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 主任看護師 奥野 和子

4日間の支援活動では、避難所で余儀なく生活している被災者にできる支援は何かを常に考えました。そして「被災者が変化を受け入れる過程で、健康の維持と生活を整えること、被災によるストレスを減らすことは難しいが、環境を整えることで環境によるストレスは減らすことができる」という災害支援ナース育成研修で学んだ言葉を心にとめながら支援活動を行いました。その中で支援者が最善と考える支援と被災者が必

要と思う支援との乖離を埋めていくためにはコミュニケーション能力や情報収集能力、そして他職種チームとの協働も重要であることを学びました。災害の復興を願うとともに、学んだことをこれからの看護に活かしていきたいと思っています。



ナースのミーティング(石川県看護協会ナース・JMATナース・災害支援ナース)



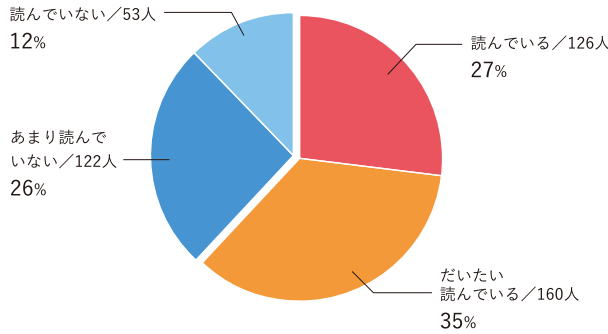
レクリエーションの様子

令和5年度「看護ひろしま」アンケート結果

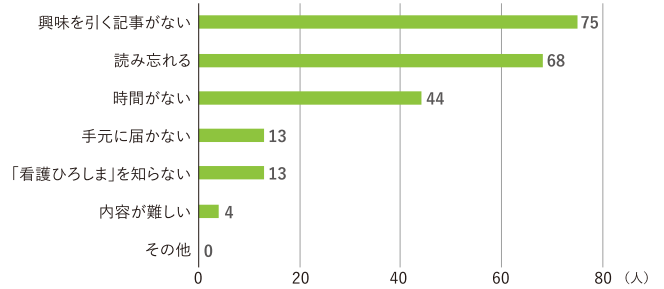
広島県看護協会機関紙「看護ひろしま」について、5年ぶりにアンケート調査を実施しました。ご協力いただきありがとうございました。会員の皆様から寄せられた回答のまとめをご報告いたします。

目的：広島県看護協会会員のニーズを把握し、「看護ひろしま」の発刊に関する示唆を得る
 期間：令和5年9月5日～10月31日
 対象：広島県看護協会会員
 方法：WEBアンケート
 回答数：461（有効回答数：461）人

① あなたは「看護ひろしま」を毎号読んでいますか。



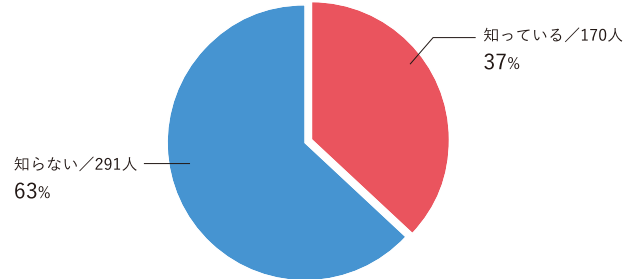
② 「あまり読んでいない」「読んでいない」を回答された方のその理由について(複数選択可)



③ どのような記事に関心がありますか。(複数回答可)

	全体	年代別	
		10～30歳代	40～60歳代
1位	ワークライフバランス	豆知識	地域で暮らしを支える看護職
2位	豆知識	ワークライフバランス	ワークライフバランス
3位	地域で暮らしを支える看護職	教育	教育
4位	教育	趣味・癒し	豆知識
5位	認定・専門看護師、特定行為修了者	認定・専門看護師、特定行為修了者	認定・専門看護師、特定行為修了者

④ 「看護ひろしま」は広島県看護協会のHPからも閲覧できます。HPにあることを知っていますか。



アンケート結果から、約6割の人は「看護ひろしま」を読んでおり、内容に関しても概ね良いとの回答が得られました。しかし、10～30歳代の半数以上の人は読んでいない、あまり読んでいないと答えていました。

「看護ひろしま」9月号の関心を持った記事や、どのような記事に関心があるかの回答は、年代別に大きく差はありませんでした。

また、HPから閲覧できることを知らないと答えた人は、約6割を占めていました。

自由記載(75件)では、好意的な意見が多くある一方で、冊子をペーパーレスにすることやデジタル配信を望む声は13件ありました。

今後は、良いと評価された内容を継続しつつ、若い世代が興味を持って読んでみようと思う内容や表紙の検討を行い、PCやスマホを使って「看護ひろしま」を読んでもらえるように工夫していきたいと考えています。

掲載したQRコードから詳細な結果を見ることができます。ぜひ、アクセスしてみてください。

アンケート結果の詳細はこちら



ナースセンターからのお知らせ

看護職の皆様へ届出のお願い

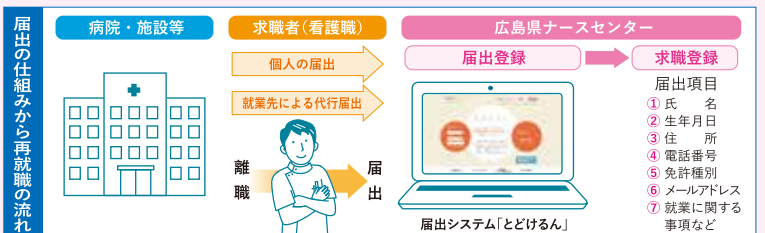
看護師等の免許を有していて離職等された方は、「とどけるん」のサイトから登録をお願いします。

ナースセンターは、届出の情報をもとに、再び医療・介護・福祉の現場に復職できるよう個別に応じた就職活動のサポートをしています。

看護管理者の皆様には、離職される看護職の方に、届出登録の説明と、看護師等の免許を活かし働き続けられるよう支援の言葉をかけていただき、引き続き自施設の離職防止・定着への取り組みをお願いいたします。



- 誰が届けるの？
 - ・病院等を離職した方(次の仕事が決まっている方も含む)
 - ・就職をしなかった方
 - ・現在、就業していない方
- 届出の方法は？
 - ・自分で「とどけるん」にアクセスして登録する。
 - ・届出用紙に記入し、看護管理者に提出またはナースセンターに送付する。
- 届出のメリットは？
 - ・e ナースセンター(無料職業紹介)の利用
 - ・復職支援研修等のご案内が届きます。



保健師コーナー

地域保健・産業
保健フォーラム

生きづらさを抱える方への 支援を学ぼう!!

保健師職能委員会

岡崎 美幸

(福山市保健福祉局長寿社会応援部高齢者支援課)



中甫木くみ子先生

11月26日、広島市精神保健福祉センター精神科医師中甫木くみ子先生をお招きし、「『適度な距離』って何だろう?～成人期の発達障害やパーソナリティ障害の特性に応じた関わり方と支援者側のメンタルヘルス～」をテーマにフォーラムを開催しました。

講義では、架空の事例をもとに、障害特性の理解や支援者の役割など分かりやすく話されました。「支援者が当事者に巻き込まれるのは当たり前で、巻き込まれて分かることもある。

また、支援者の心も当事者の心も生きて動いており、程よい接点を持つ瞬間があったり、なかったり、その中でその時々のできることをする。そのためには、自分の感情を否定しないこと、仲間と話すこと、休むことが大切だ」と話されました。

参加者からも、巻き込まれるのは一生懸命関わっている証しであり、私たちは大切なことをしているのだと思えたとの声がありました。

日ごろ顔を合わせる機会が少ない地域保健と産業保健の保健師が共に学ぶ場となり、グループワークでは活発な意見交換ができ、連携につながる良い機会となりました。



助産師コーナー

助産師職能
研究会

助産師が行う超音波検査

助産師職能委員会

榊原 和歌子

(広島赤十字・原爆病院)



正岡博先生

11月26日正岡病院理事長、正岡博先生をお迎えして第2回助産師職能研究会を行いました。今回は、超音波検査の基本と操作、知っておきたいポイントを中心にご講演いただきました。総合病院やクリニックの助産師28名の参加がありました。助産師外来の開設を考えている施設から参加された方も多くおられ、助産師外来で行う助産師の超音波検査に対する関心の高さがうかがえました。講

演は、超音波検査の具体的な方法について、画像を用いながらすすめられ、参加者はイメージを深めることができました。また、携帯用のエコーで自分の動脈の流れを確認し、超音波検査をより身近なものに感じることができました。超音波画像の正しい見方や判断方法を学ぶことで、助産師外来や妊婦健診で活かせることと思います。

助産師職能委員会は、専門職として具体的かつ実践に活かせる研究会を企画いたします。皆様のご参加をお待ちしております。



看護師職能
研究会

お互いを認め合う職場づくり

看護師職能委員会

高尾 幸恵

(社会医療法人社団陽正会 寺岡記念病院)



岩永 誠先生

11月25日に、第2回看護師職能研究会を開催し、看護師、助産師、准看護師73名の参加がありました。

広島大学大学院 人間社会科学研究所 岩永 誠教授より「お互いを認め合う職場作り」をテーマに講演いただきました。

言い、意見の対立があったとしてもそれを受け入れ、生産性を向上させる活発なコミュニケーションができる組織が心理的安全性のある職場であると学びました。

その後、参加者とグループワークを行い、「どの職場でも同じような現状があり共感でき、気持ちが楽になっ

た」「目の前の患者さんに良い看護を提供するには、心理的安全性のある環境が大前提になることを学べた」などの意見が聞かれました。同じ悩みを抱える現状を共有でき、職場を変えるヒントを学べた有意義な研究会でした。



令和6年度看護研究倫理審査について

看護研究倫理審査委員会 委員長 後藤 満津子(福山平成大学)

令和6年度も看護研究倫理審査を2回(7月、9月)行います。「看護研究倫理審査の手引き」、申請書類の様式は広島県看護協会ホームページからダウンロードできます。

対 象	本会会員が所属する施設に研究倫理審査委員会等が設置されていない場合で、本会会員が倫理審査の申請者(研究責任者)であり、学会等(本会支部研究発表会も含む)で研究成果を公表する予定の者 ※支部看護研究サポート等で指導を受けている場合、指導者の許可を得て申請ください。
申請方法	「看護研究倫理審査の手引き」をご覧ください。
審査書類受付	①第1回 6月19日(水)締切 ②第2回 8月21日(水)締切 (締切日必着)
問い合わせ先	(公社) 広島県看護協会 看護生涯教育・研究センター 看護研究倫理審査委員会事務局 TEL 082-503-2381

図書室視聴覚資料のご案内

図書室では、現在518巻の視聴覚資料を所蔵しています。この度新たに購入したDVD7本をご紹介します。

- ①ドキュメンタリー映画「うまれる」
- ②実習に役立つ!看護コミュニケーション
 - 「vol.1 看護面接のプロセス」
 - 「vol.2 良好な関係を構築するコミュニケーション技法」
 - 「vol.3 高度なコミュニケーション」
- ③クリティカルケア看護
 - 「vol.1 クリティカルケア看護の基礎知識」
 - 「vol.2 救急外来から集中治療室入室までの看護」
 - 「vol.3 集中治療室入室後の看護」



その他、所蔵作品についてはホームページに掲載しております。是非ご活用ください!



お問い合わせ先

広島県看護協会図書・情報管理室
TEL・FAX 082-296-5079
E-mail tosoyo@nurse-hiroshima.or.jp

「看護の日」PRバスの応援を!

令和6年5月13日(月)に「看護の日」PRバスが広島市内を巡回します。

これは、日本看護協会が若年層に向けて看護の仕事や魅力をアピールする目的で、2021～2024年度の4カ年をかけて全国を4地区に分けて運行し、「看護の日」をPRするという企画です。

最終年度の今年度は広島を始め中・四国、九州の15県を3台のバスが回ります。応援してくださいね。



見かけたSNSへ
アップしてね!

令和5年度のラッピングバス

看護職の生涯学習を支援するための 「看護職の生涯学習ガイドライン」が 2023年6月に日本看護協会から公表されました



広島県かんどちゃん

「看護職が自ら学ぶことを支援する」という視点に立ち、これまでの“継続教育”の考え方から
主体的・継続的に学び続ける“生涯学習”にチェンジします

一人ひとりの「はたらく・まなぶ・キャリアを形成する」を支援するため、広島県看護協会では、日本看護協会が示したガイドラインの考え方にに基づき、2025年度のリニューアルを目指して研修全体の見直し・検討を進めています



新しいガイドラインについて
具体的に知りたい

日本看護協会から3つのテキストが出されています
日本看護協会のホームページからダウンロードできますよ!

- ①「**看護職の生涯学習ガイドライン**」
*生涯学習の考え方を示す指針、羅針盤となるものです
- ②「**看護師のまなびサポートブック**」
*あなたの「まなび」をサポートする個人向けのガイドブックで、全ての看護師を対象としています
- ③「**生涯学習支援ガイドブック**
【**看護職を雇用している組織向け**】」
*各組織が生涯学習支援を行う際の考え方が示されています



広島県かんどちゃん

看護職の生涯学習
ガイドライン
はこちらから



広報委員の
元気の源

白衣

食～ひろしまが育む風景～ 表紙の写真／鞆の浦の鯛

福山市鞆地区にある鞆の浦は、江戸時代の港湾施設が残る港として日本遺産に認定されています。美しい眺望と昔懐かしい雰囲気を感じさせる街並みが残る港町です。鞆の浦のグルメといえば鯛。これから春に旬をむかえる鯛は、高タンパクでくせがなく味が強いので、どんな食材とも相性が良く、幅広い調理法があります。毎年初夏には江戸時代から続く地元の伝統漁法を間近に観られる観光鯛網が開催されています。瀬戸内でも、鞆の浦で獲れる鯛は特に色や形がよく、美味しいことで知られています。鞆の浦の美しい景観と美味しい鯛を楽しんで、仕事の活力にしたいですね。(上田 雪絵)

広島県看護協会報 看護ひろしま

4月号 / 254号
発行 2024年4月
発行所 公益社団法人 広島県看護協会
〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-2
TEL:082-293-3362
発行責任者 山本 恭子

編集 広報委員会
制作 有限会社バル